

寸胴

Zun Dō

NO. 62 2020 Spring



ISSN 0915 8960

図書館ホームページ URL: <https://www.lib.gifu-u.ac.jp>

目 次

読書経験を振り返って —世界をみすえ、自分を見つめる— ……………1	寄贈図書一覧（2019年7月～12月） ……………5
岐阜大学の古典籍（2）竹中半兵衛の子孫ゆかりの 版本が図書館に！～その2～ ……………4	法人統合に伴う 名古屋大学附属図書館の利用について ……………6
	お知らせ ……………8



読書経験を振り返って —世界をみすえ、自分を見つめる—

白村 直也

数多くある言語の中でも、日本語は非常に難しい言語の一つだ。平仮名、カタカナ、そして漢字があり、かつ漢字には音読みと訓読みがある。この複雑さが多くの日本語学習者を悩ませていると聞く。また表現が繊細なあまり、異文化コミュニケーションの場面で齟齬をきたすことがよくあるようだ。

最近、アメリカ国務省の専門職養成機関が、英語母語話者が他言語を習得する際の難易度を発表したことが一部話題になった。というのも、日本語は英語母語話者にとって極めて困難な言語（88週：2,200時間の授業が必要）だということである。

日本語とはどういう言語なのか。普段それを話したり、書いたりする暮らしの中ではあまり気にならないが、実は私たち自身が日本語にどのように向き合うかが、今厳しく問われているように思えてならない。たとえば、3年に1度実施される国際学力調査 PISA は、OECD（経済開発協力機構）が世界の15歳を対象に科学や数学、そして読解力を測定するものだが、2019年12月にその調査結果が発表された。文章や図表から必要な情報を取り出してまとめる「読解力」で、日本は大きく順位を落としたのである。

こうした調査結果を前にすると、果たして自分はどののだろうか、と不安に駆られてしまう。もちろん「読解力」というのは、多くの本を読んだり文書を書いたりするだけで得られるものではないのだろう。しかし常日頃文章に向き合い、深い洞察力を養う姿勢を幼少期から身につけることを、この調査結果は求めているように思える。一方で、「いや、この調査は15歳を対象としたもので、自分たちとは違う」という声が聞こえてきそうだ。確かにそうかもしれないが、この調査結果をみたとき、ふと自分の読書経験を振り返ってみたいくなったのである。

本を読んだり、多くの文章に触れながら思索にふけるのは、実は多くのエネルギーと時間を必要とする。たとえ15歳であっても、普段めまぐるしく時間が過ぎていく中では、よほど意識しないと時間を確保できるものではない。特に大学生ともなれば、勉強の他にサークルやアルバイトなど、気が休まる時間がなかなかないのが実情だろう。

自分の学生時代の読書体験を振り返ってみると、日本語がどのような言語なのか、そして日

本がどのような国なのかを考えることが、一つの大きな契機になっていたように思う。それは大学に入学してロシア語を学ぶようになってからだった。もちろん中学校で英語に触れたが、勉強しつつも近い将来に控えた受験を意識せざるを得ず、学ばないといけない感が強かった。あくまで受験科目の一つとして捉えていたが、大学に入り、ロシア語を学ぶようになってからは、意識的に言語というものを考えるようになった。

大学に行くときは必ずかばんにロシア語の辞書が入っており、気になる単語はすぐ調べるようにした。キャンパスの中にはイタリア語、フランス語、中国語などの辞書を片手に慌ただしく動き回る学生が多くいた。そういう学生を見かけるだけで自分の世界が広がるような高揚感を得たと同時に、あらためて日本語を振り返ることもままあった。

ある授業で、小説「浮雲」で有名な二葉亭四迷の話になったのを今でも覚えている。ロシア語に非常に精通していた彼は、文章を書く前に一度ロシア語で書いてから日本語に翻訳したという（実際に彼がそうしていたのかは定かではない）。当時としては、彼のような文豪でも日本語で文章を書くということにかなり苦労していたのだな、と妙に感動したものである。

大学3年次に1年休学し、ロシア・モスクワに留学した際には、何があっても留学期間中は日本に帰ってこない、日本語とは距離を置くなどと色々と誓ったものだが、この誓いはもろかった。食欲にロシアのことを学び、ロシア人と交流を持つうちに、日本の文化や日本語について質問されることが次第に増えていった。インタ

一ネットが普及していたとはいえ、ネット上で飛び交う情報に一抹の不安を覚えたこともあり、急遽ロシアで「日本」を学び直すことにした。関連する書籍を日本の家族にお願いし、遠くモスクワまで送ってもらったのである。自分のことながら、今まで「あたり前」に通り過ぎてきたことがいかに多かったか。我ながら愕然とすることも多々あった。モスクワでの読書経験を通じて、ロシア語の勉強と並行してあらためて日本語に、そして文化に向き合うことになったのは、当時としても貴重な経験であった。図書館に自主的に行くようになったのは、こうした経験がもとになっている。棚にならぶ本の背表紙に書かれた書名をながめるだけでも、自分の世界の広がりを感じるようになった。

2018年の全国大学生生活協同組合連合会「第54回学生生活実態調査の概要報告」は、全国の国公立および私立大学の学部学生を対象として実施されたものだ（回収率35.2%）。この報告は、1日の読書時間「0」が回答者中48.0%と、前回に引き続き半数近くの学生に読書習慣がないことを記している。もちろん、この結果には、本を

読みましょう、という裏のメッセージが込められているのだろう。学生の文章力が低下している、といった身につまされる調査結果は、かなり前から色々なところが公表したりもしている。そうした調査を目にするたび、なんだか急かされるような気がして、ますます図書館から足が遠のくのも無理はないのかもしれない。

自分に置き換えてみれば、大学に入学して間もなく、気乗りしないながらも図書館に行き、何気なしに手に取ったロシア文学が今でも愛読書になっているのは不思議な縁を感じる。原書を借り、なんとか日本語に翻訳してみようと思いついたのである。決して誇られるような読解力が身についたとは思えないが、自分の読書経験を通じて自分自身に向き合いつつも、その先にある世界を追い求めていたように思う。ふと図書館に立ち寄って、1冊手にとってみるのも悪くない。

（白村 直也：教育推進・学生支援機構
特任助教）



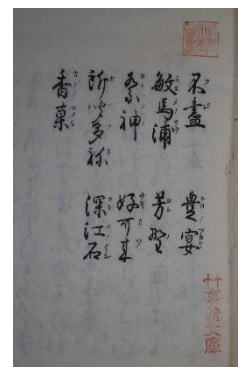
岐阜大学の古典籍（２）竹中半兵衛の子孫ゆかりの版本が図書館に！～その２～

教育学部国語教育講座准教授 小川 陽子

岐阜大学図書館の古典籍をご紹介する連載の第 1 回では、『独吟』（整理番号 912.3/26.1/78369）を取り上げ、①明和 2（1765）年 6 月に刊行された『明和改正謡本』と呼ばれる謡本の一部であること、②「竹裏館文庫」という蔵書印により竹中家の旧蔵書と認められることを確認しました。特に②は重要で、これまでは、「竹裏館文庫」印といえば竹中重門（竹中半兵衛の子。1573～1631 年）のものであり、この印が捺された本は重門の旧蔵書であると言われてきました。しかし、岐阜大学本『独吟』は上記のとおり明和 2（1765）年すなわち竹中重門の亡くなった後に刊行されたものであることから、「竹裏館文庫」印は竹中重門という一個人ではなく、竹中家が代々使用した印と考えられるのです。今回は、それを岐阜大学以外の図書館や文庫に残されている古典籍から確認していきます。

残念ながら「竹裏館文庫」旧蔵書は現在まとまった形で所蔵されておらず、岐阜大学をはじめ、各地の図書館や文庫に点在しています。このため、竹中家がどのような書物を所蔵していたのか、その全貌をつかむことは容易ではありません。しかし、「竹裏館文庫」という蔵書印を手がかりとして、その蔵書的一端を垣間見ることは可能です。たとえば、全国の大学図書館の本を一挙に検索できる「CiNii Books」(<https://ci.nii.ac.jp/books/>)を確認すると、次の 7 点が見つかります。（ ）内は現在の所蔵先、【 】内はその本の出版年（写本の場合は書写年。いずれも CiNii Books に記載された情報による）です。

- 1 赤水先生東奥紀行；探北越七奇記（関西大学）【寛政 4（1792）年】
- 2 和歌童翫抄（九州大学雅俗文庫）【宝暦 4（1754）年】
- 3 六百番歌合（徳島大学）【承応 1（1652）年】
- 4 孫呉摘語（関西大学）【元和 6（1620）年】
- 5 増註唐賢絶句三體詩法（京都大学文学研究科）【不明】
- 6 棠陰比事物語（関西大学）【不明】
- 7 歴代帝王紹運圖（筑波大学）【不明】

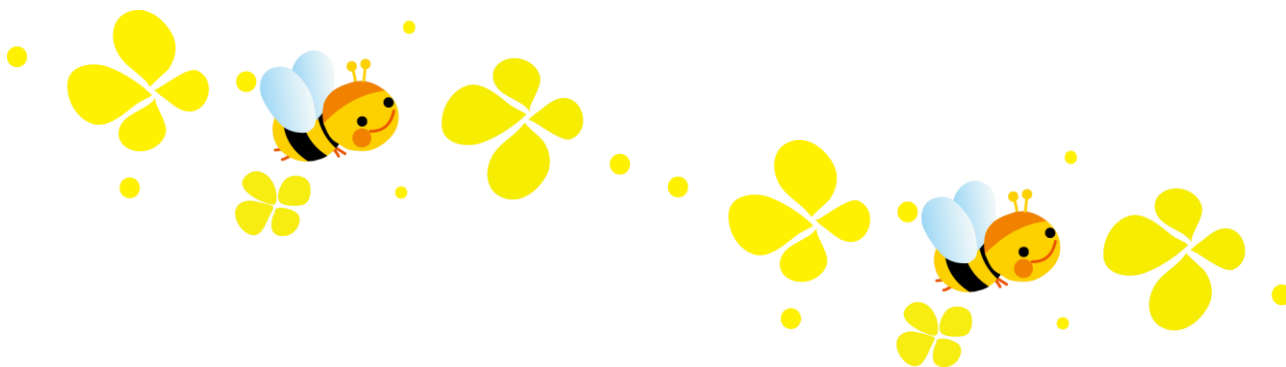


1～3 はいずれも岐阜大学本『独吟』と同様に竹中重門没後の刊行物であることがわかります。やはり、「竹裏館文庫」印は、竹中重門個人ではなく、竹中家のものと見るのが妥当でしょう。

なお、上記の検索では、CiNii にデータが収録された古典籍のうち、蔵書印に関する情報を各図書館が入力している場合のみヒットします。そもそも古典籍については収録対象外となっている図書館も少なくありません。ですから、「竹裏館文庫」印の捺された古典籍はこれがすべてではありません。

たとえば、国文学研究資料館「蔵書印データベース」 (http://basel.nijl.ac.jp/~collectors_seal/) を検索すると、早稲田大学図書館九曜文庫に『雛鶴源氏物語』『紅白源氏物語』『俗解源氏物語』という江戸時代に出版された『源氏物語』俗語訳シリーズおよび『狭衣物語』が、ハーバード燕京図書館に『歴代帝王編年互見之図』が、それぞれ所蔵されていることがわかります。このほか、国文学研究資料館「日本古典資料調査記録データベース」等により、さらに「竹裏館文庫」旧蔵書に関する情報を手に入れることも可能です。蔵書印情報の登録は、古典籍を実際に見て、蔵書印の文字を判読して（複雑な印もあり、判読はなかなか骨の折れることです）、入力して、と手間がかかりますが、とてもありがたい仕事です。

竹中家は、平安時代の物語（源氏物語・狭衣物語）や鎌倉時代の和歌（六百番歌合）、江戸時代の兵法書（孫呉摘語）、漢籍（歴代帝王紹運圖）など、多様な書物を所蔵していました。そのうちの1つが『独吟』であり、竹中家ゆかりの地である岐阜に今も残されているのです。



寄贈図書一覧（2019年7月～12月）

2019年7月～12月に図書館にご寄贈いただいた図書の中で、本学教職員が著作・編集・刊行等に関係した図書を掲載します。ご寄贈いただき、ありがとうございました。

●牧 秀樹（地域科学部）

・中学生版最小英語テスト(jMET)ドリル

／牧秀樹著，開拓社，2019.11 【図本館3階 830.79||Mak】

～内容紹介～

「ゲーム感覚で英語の力をつけたい」そんな中学生に、このドリルをお薦めします。中学3年間で学ぶ文法項目をすべて網羅。各回3分程度のテストを繰り返し行うことで、脳が活性化し、英語能力が向上。CD付き。

※内容紹介は著者または編者本人による

法人統合に伴う名古屋大学附属図書館の利用について

2020年4月から、岐阜大学と名古屋大学は法人統合により国立大学法人東海国立大学機構の構成大学となります。

それに伴い、一部のサービスを除き、岐阜大学の所属者（学生・教職員）は名古屋大学附属図書館の中央図書館および医学部分館を名古屋大学所属者と同じ条件で利用できるようになります。

岐阜大学所属者の、名古屋大学附属図書館の利用方法

岐阜大学所属者が名古屋大学附属図書館の中央図書館および医学部分館を利用するためには、名古屋大学附属図書館で発行される利用証が必要です。

【利用証発行の手順】

1. 岐阜大学図書館の本館または医学図書館のカウンターにて、「利用証交付申請書」を提出する
2. 申請日から一定期間後に、名古屋大学附属図書館で利用証が発行される
3. 岐阜大学の学生証・身分証を持参して名古屋大学附属図書館へ行き、カウンターで図書館利用証を受け取る

※利用証は、中央図書館・医学部分館のどちらでも受け取りが可能です。

利用証の発行には事前の申請が必要ですので、名古屋大学附属図書館の利用をご希望される場合は、余裕をもってお申し込みください。

【利用対象となる図書館】

- ・名古屋大学附属図書館 中央図書館および医学部分館（保健学図書室を除く）
- ※これ以外の、学部図書室等は利用の対象外です。

【利用できるサービス】

- ・図書館への入館、および資料の閲覧
 - ・資料の貸出・貸出期間の延長・貸出中の図書の予約
- ※返却は借りた図書館へ直接行ってください。
- ・図書館内で開催される講習会への参加
 - ・図書館カウンターでの参考調査、レファレンス

【条件付きで利用できるサービス】

- ・グループ学習のための施設（ラーニングポッド、ディスカバリスクエア）の利用
- ※名古屋大学所属者が利用代表者であれば利用できます。この他、利用可能なサービスやその利用方法については、名古屋大学附属図書館での案内に従ってください。

【利用できないサービス】

- ・名古屋大学所属者用のパソコンの利用
- ・名古屋大学所属者用の無線 LAN の利用
- ・個人学習用の鍵付き個室の利用
- ・AV 資料の再生機器の利用

サービスの開始日や詳細は、岐阜大学図書館ホームページをご確認ください。

- 岐阜大学図書館ホームページ

<https://www.lib.gifu-u.ac.jp/>



/// お知らせ ///

図書館講習会の開催について

岐阜大学図書館では、毎年、春（5月～6月）と秋（10月～11月）に資料の探し方や文献検索などのさまざまな講習会を行っています。

日程が決まり次第図書館 Web サイト等でお知らせいたしますので、積極的な受講をお待ちしております。

学習や研究に、是非お役立てください。

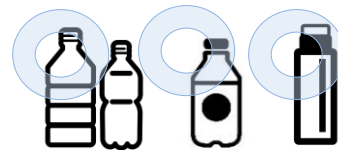
図書館の飲食ルール：持ち込み可能な飲み物について

館内は原則飲食禁止となっておりますが、水分補給等の健康上の理由から、フタ付きの容器に入った飲み物に限っては持ち込み可能としています。皆が気持ちよく図書館を利用できるよう、ご協力をお願いします。

【持ち込み可】

ねじ式のフタ付き容器に入った飲み物は OK です。

例：ペットボトル、スクリューキャップの缶、マイボトル



【持ち込み不可】

フタないものは不可です。また、フタがあっても、倒れれば簡単にこぼれる物は不可です。

例：カップ、紙パック、プルトップ式の缶、チルドカップ、トラベラーリッド付きカップ（コンビニでテイクアウトするホットコーヒーなど）



【タイトル「寸胴」について】

図書館エントランスホールにある陶壁画「寸胴譜」（作：九谷興子 1911-1998）は、陶器の原型「寸胴」を学生や若い研究者になぞらえ、社会への飛躍をイメージした作品で、図書館報のタイトルはそこから採っています。



岐阜大学図書館報「寸胴」第62号 2020年3月31日

編集・発行 岐阜大学図書館（学術情報課）

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 ☎058-293-2184